

戸田市が取り組む「おしゃれ」なまちとは「つながり、楽しめるまちを目指す」

議員 林 冬彦



議員 神保市長が提唱され、戸田市が取り組む「おしゃれ」なまちとは、どんな概念か。

「シビックプライド」が重要なキーワード！

政策秘書室長 「外見におしゃれなまち」より「まちの魅力を媒介

にして、人とまちとのつながりが生まれ、日々の生活が充実したまち」に重点を置き、住民が都市空間を使いこなし、豊かなライフスタイルを楽しむことのできるまちを目指していく。「おしゃれ」「シビックプライド」「住民参加」を論点に、日本都市センターとの共同研究を市政策研究所が行っている。今後のおしゃれなまちづくり

は、主体となる利用者と、その他の客体とのつながりや、地域資源がさらに魅力的に感じられるための居場所づくりを戦略的に考えていくことが必要だとわかった。



日本都市センターとの共同研究の様子

市民のアート作品の展示が可能な公共空間はどこか。

アート作品展示可能な公共空間は

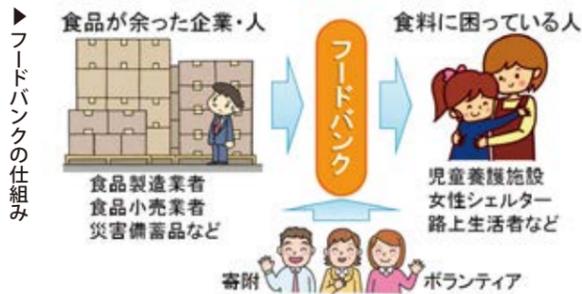
被害が多くなってきた。今できる対策は。

市民生活部長 利用者

に注意喚起を行うとともに、随時通路や自転車に付着したふんの清掃等、対処に努めている。原因は特定されていないが、ハトの生息場所の多様化が進んだことや高架橋下の防護ネットの設置後に目立ってきた面もある。JRと、ふん害対策について協議していく。

ハトのふん害対策は

議員 北戸田駅南側自転車駐車場においてハトのふんの落下による



食料に困っている人 児童養護施設 女性シェルター 路上生活者など

食品が余った企業・人 食品製造業者 食品小売業者 災害備蓄品など

環境経済部長 産業廃棄物の削減につながる

取り組みであることから、県も推進している。必要に応じて連携を努める。

環境経済部長 買い過ぎない、食材を使い切る、料理を食べきるなど県が提唱する「食べきりSaitama大作戦」を推奨している。

議員 本来食べられる食品を循環させているフードバンクの仕組み

三輪なお子議員

「必要に応じて連携に努める」

生活困窮者支援

フードバンクの仕組みを積極的に支援すべき

議員 フードバンクについて、本市としての活用は。

福祉部長 平成28年度から、生活困窮者支援の一環として、フードバンクから無償で食品の提供を受け、戸田市生活自立相談センターが食料品の給付を行う

家庭ごみの出し方パンフレットの改善を「全面リニューアルし全戸配布する」

議員 本田 哲



議員 家庭ごみの出し方の正しい出し方をパンフレットに載っていない、ごみの捨て方が分からないとの声が寄せられている。さいたま市では、20ページ構成で細かくごみの出し方を表記したパンフレットを作成している。さいたま市のように改善をし、市民に配布して



秋にリニューアルされるごみの出し方パンフレット

環境経済部長 2種類あるパンフレットのうち、小冊子版を全面リニューアルする。20ページ構成で、分別方法などはイラストを用いて分かりやすくし、平成30年度の秋ごろに8万部を作成し、全戸配布する予定である。スマートフォン等での閲覧も容易にできるよう、電子媒体も作成する。

議員 外国語への対応はどうなっているか。

環境経済部長 外国語の翻訳版も検討する。

小学校区にボールが利用できる公園の整備を

議員 小学校区にボールが利用できる公園整備を常に求めてきた。今後の整備の考えは。

環境経済部長 小学校区にある公園は、比較的に規模の小さい公園が多く、安全にボール遊びをするためのスペースを確保することは難しい状況にある。

バリアフリー

市役所周辺の点字ブロック設置を「駅から市役所まで設置予定」

議員 佐藤 太信



議員 本

連携が必要と感じている。関係当事者の声を聴く機会を設けるべきではないか。①市役所周辺の音響式信号、点字ブロック設置を②障害者差別解消法の周知

都市整備部長 ①市役所周辺の点字ブロックの設置は検討する。戸田駅から市役所までは、区画整理事業を進める中で設置する予定。



▲後谷公園付近の点字ブロック

式信号の設置は、警察の意見も聞き検討する。

福祉部長 ②イベント

等を通じて効果的な周知方法、基幹相談支援センターの設置を含め検討する③賃貸物件を探索支援は、相談支援事業者と連携して実施する⑤関係課に寄せられた相談事例や課題について情報共有する。

その他の質問 Q 介護者の夜間、心理相談の検討を。 A 実態を把握し、今後の検討課題とする。

教育部長 ⑤戸田第一小学校建設に当たり、通常学級のみならず特別支援学級の保護者の意見を聞き、関係各部署と連携する。

